



那須教育事務所
ふれあい学習課
〒324-0041
大田原市本町2-2828-4
Tel:0287(23)2177(代)



本地区に、新たな社会教育主事有資格者が誕生しました

本年度、宇都宮大学では、オンライン研修と集合研修のハイブリッド方式で社会教育主事講習が行われ、本地区からは、7名が受講されました。

7名の皆様は、社会教育主事有資格者であると同時に、社会教育士でもあります。今後の御活躍を期待しています！

受講された皆様から、受講後の感想をいただきましたので、紹介します。

島田 むつみ (那須塩原市立黒磯小学校 教諭)



人と人が「つながること」で幸福になれること、そして、人生を豊かにするためには学びが必要であること。それらを、講習の中で自分自身が体験し、実感することができました。先行き不透明なVUCAな時代だからこそ、学校と地域が協力して未来を切り拓いていける子どもたちを育てていかなければならないと改めて感じました。

田中 身和 (大田原市立大田原小学校 教諭)



社会教育主事講習を受講し、一番印象に残ったことは、「つながること」です。特に、学校と地域が協働していくことで、子どもたちによりよい経験をさせることができると感じました。学校も地域も、「互いに遠慮している」と、実際に地域の方にお話を聞いて感じました。私たちがその垣根をなくしていけるよう、働きかけていきたいです。

金澤 貴子 (那須塩原市立東原小学校 教諭)



今回の講習を受けて、社会教育の端緒となるものは日々のいたるところにあると気付きました。社会教育の視点をもつと、普段の生活や学校教育の中に、新たな学びや関係づくりのきっかけが見えてきます。学校と地域とが繋がって、子どもたちの学びを豊かにしていけるよう、今後も学んでいきたいです。貴重な機会をありがとうございました。

小林 美穂 (大田原市立黒羽中学校 教諭)



今年の夏は、「社会教育」について多くの学びを得ることができた非常にあつい夏休みとなりました。私にとって、学校現場では気付くことの出来ない研修ばかりで、毎日が「目から鱗」の連続でした。社会教育について学ぶ機会をいただけたことに、感謝いたします。今後も「つながりづくり」を大切に、まだまだ学び続けていこうと思います。

船橋 一博 (那須塩原市立三島中学校 教諭)



「社会教育」って何だろうと言う疑問から始まった講習でした。法的な位置づけや理論等も学びましたが、大切なのは「つながりを大切にする」「みんなが幸せになる」に尽きると思います。その視点を大切にしながら、よりよい授業作りや学級等の集団づくり、家庭・地域等との関わりに努めていきたいと思っています。

目黒 貴司 (那須町立那須中央中学校 教諭)



社会教育とは「人のつながりを創り出すこと」だと学びました。人は1人では生きていけません。互いに支え合いながら生きていくために、社会教育という視点は必要不可欠だと感じました。学んだことを少しでも学校や地域に還元していきたいと思っています。そして、社会教育主事講習を通して出会った仲間とのつながりを大切にしていきたいです。

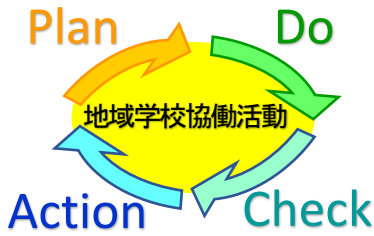
湯澤 紗貴 (那須塩原市教育委員会生涯学習課)



行政職からの参加になり、学校等の教育現場での経験が全くないため、最初はとても心配でした。しかし、身近なところに社会教育の機会があり、学校以外にも学ぶ場所はたくさんあるということ、研修を通して実感しました。今回の経験を生かし、より良い生涯学習社会の実現に向けて業務に携わりたいと思っています。

次年度の取組に向けて

今年度も地域の方々の協力により、学校行事や学習活動の支援が得られ、子どもたちの体験的な活動がたくさん行えました。



地域と連携した活動が進められたそうですね。年度末を迎えるにあたり、学校評価の結果を踏まえて、学校と地域で共有したビジョンや目標がどのくらい達成されたか振り返ってみましょう。

	【学校運営協議会】	【地域学校協働本部】
<p>Plan (計画)</p> <p>Do (実行)</p> <p>Check (評価)</p> <p>Action (改善)</p>	学校運営の基本方針の承認 ビジョンや目標の設定 ・熟議の実施 学校や地域の情報の共有 学校運営や地域学校協働活動の計画	学校運営協議会の協議の結果を踏まえた計画 ・地域学校協働活動の実実施計画の作成と連絡調整
		地域学校協働活動の実施 ・授業補助、ふるさと学習 ・本の読み聞かせ活動 ・登下校の見守り ・放課後子ども教室 等
	学校評価の実施 ・学校の教育活動の評価 ・地域学校協働活動の評価	次年度に向けて取組の改善や年度末の学校運営協議会の議題にすることもできるでしょう。
	評価結果を踏まえた改善 ・目標の見直し ・新たな課題への対応の協議 ・学校の教育活動や地域学校協働活動の改善のための協議	学校運営協議会の協議の結果を踏まえた活動の改善 ・目標の確認 ・学校の教育課程との関連付け ・具体的な方法の企画立案

構築したPDCAサイクルに基づく改善のための視点

- ・ 地域学校協働活動が、目標を実現するために効果的であったか。
- ・ 学校評価の結果から、続けるべき取組か、やめるべき取組か。
- ・ 取組は、学校・家庭・地域がそれぞれの責任を担い、協働的な活動であったか。